




施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	043	市民の文化・芸術活動の支援			
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）	主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	基本施策	03	文化・芸術活動の支援		
めざす姿	本市特有の伝統芸能や芸術文化がしっかりと継承され、市民がそれらに親しみや誇りを持つとともに、様々な文化や芸術活動に触れる、楽しむ機会が充実しており、心豊かな生活を営んでいます。				
SDGsとの関連	  				

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	14,723,000	14,819,000	13,409,000	23,735,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	9,800,000		
一般財源	14,723,000	14,819,000	13,409,000	13,935,000		
予算現額	2,888,000	14,836,000	13,409,000	0		
決算額	2,041,351	10,941,552	11,854,757	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	2,041,351	10,941,552	11,854,757	0		
執行率	70.7	73.8	88.4	0.0		
(人件費)						
職員数	1.66	1.99	1.59	0.00		
職員人件費	13,005,780	16,074,363	12,677,730	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	366,034	404,166	294,051	0		
総コスト	15,413,165	27,420,081	24,826,538	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 府中囃子及び武蔵国府太鼓の認知度	-	67.7	62.1	-	-	65
	%	達成率	104.2	95.5	0.0	
② 市民芸術文化祭参加者数	5,458	2,947	3,722	-	-	5,800
	人	達成率	50.8	64.2	0.0	
③ 市民芸術文化祭参観者数	116,898	40,852	62,136	-	-	127,000
	人	達成率	32.2	48.9	0.0	
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルスによる制限が解除され、おおむねコロナ禍前と同様に文化・芸術活動が実施されるようになった。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	東京都は、2030年までの東京都の文化行政の方向性や重点的に取り組む施策を示した「東京文化戦略2030～芸術文化で躍動する都市東京を目指して～」を取りまとめた。	新型コロナウイルスによる活動自粛などの影響から、活動を休止した文化芸術団体もあったが、目標達成に向けて事業を実施することができた。	
市民ニーズ	市民芸術文化祭については、伝統文化を次世代に継承しつつ、参加者数と参観者数を増加させていくことが課題となっている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	武蔵国府太鼓普及事業		主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 府中囃子及び武蔵国府太鼓の認知度	-	計画値	50	55	60	65	65	65	65	1	2	3	4	5	6	7	8	
	%	実績	67.7	62.1	-	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		囃子、太鼓の講習会を実施しているが、コロナ禍によりイベント等への出演が減っていた影響で認知度が下がったと思われる。																
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称	府中市民芸術文化祭事業		主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 市民芸術文化祭の参加者数	5,458	計画値	5,520	5,540	5,560	5,800	5,800	5,800	5,800	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人	実績	2,947	3,722	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新型コロナウイルスの影響により活動を休止した団体があり、計画値を下回った。																
		計画値	119,400	119,800	110,000	127,000	127,000	127,000	127,000	要因の種類(※)								
		実績	40,852	62,136	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新型コロナウイルスの影響により活動を休止した団体があり、実施事業数も少なくなったため計画値を下回った。																
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	市民の文化・芸術活動を支援するため、市民芸術文化祭等を実施した。また、府中市特有の伝統芸能の伝承・普及のための事業を実施した。	市民の文化・芸術活動を支援するため、市民芸術文化祭等を実施した。また、府中市特有の伝統芸能の伝承・普及のための事業を引き続き実施した。		
今後の展開	市民芸術文化祭については、更なる参観者の増加を目指す。武蔵国府太鼓講習会は府中文化振興財団と連携し、内容を工夫して実施する。	市民芸術文化祭については、更なる参観者の増加を目指す。また、武蔵国府太鼓講習会については、府中文化振興財団と連携し、内容を工夫して実施する。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				




6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
文化芸術に親しむ機会の提供と担い手の育成や、本市の伝統文化の伝承・普及に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
市内事業者と市が協力して文化芸術の盛り上がりを生み出し、市民が文化芸術に親しむ機会をより多く提供していく。また、市の伝統文化について関係団体と連携し、各種イベント等の提案や情報提供等を実施することで伝承・普及を図る。	市内事業者、団体との連携により、文化芸術に関するイベントのほか、伝統文化の講習会等を実施する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<p>【市民芸術文化祭】 府中市芸術文化協会と共催し、文化芸術団体が日頃の活動の成果を発表した。市民にとっては、文化芸術に触れる機会となった。</p> <p>【民俗芸能伝承普及】 府中囃子保存会への委託により、地域での府中囃子の演奏技術等の伝承を行った。また、府中文化振興財団の事業として、武蔵国府太鼓連盟への委託により、太鼓の講習会を実施した。</p> <p>【市民文化の日事業】 「市民文化の日」である10月の第2日曜日に市内の文化施設との連携事業として実施し、市民が文化芸術に気軽に親しむ機会を創出した。</p>	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	引き続き、市内事業者や団体と連携して、市民が文化芸術に親しむ機会となるイベントや講習会等を実施する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	044	文化施設の有効活用
総合計画	基本目標 III 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習） 基本施策 03 文化・芸術活動の支援	主担当部課名 文化スポーツ部 文化生涯学習課
めざす姿	各文化施設が文化・芸術に係る鑑賞や学習、文化・芸術活動に係る発表等のために供されており、市民が身近な場所で文化・芸術に親しむことで、文化意識が十分に醸成されています。	
SDGsとの関連	  	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	1,980,989,000	1,663,807,000	3,662,376,000	7,307,908,000		
国庫支出金	0	0	0	3,576,000		
都支出金	105,000,000	0	0	4,185,000		
市債	0	94,900,000	1,411,000,000	2,964,000,000		
その他	514,511,000	235,473,000	890,245,000	3,048,490,000		
一般財源	1,361,478,000	1,333,434,000	1,361,131,000	1,287,657,000		
予算現額	2,008,784,000	1,692,693,000	3,490,503,000	0		
決算額	1,933,041,432	1,617,411,984	3,420,429,792	0		
国庫支出金	0	5,459,000	0	0		
都支出金	156,856,000	2,970,000	85,000,000	0		
市債	0	83,500,000	1,330,000,000	0		
その他	260,350,733	206,469,907	809,242,796	0		
一般財源	1,515,834,699	1,319,013,077	1,196,186,996	0		
執行率	96.2	95.6	98.0	0.0		
(人件費)						
職員数	18.18	15.36	16.85	0.00		
職員人件費	142,436,791	124,118,237	134,445,998	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.40	1.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	1,295,110	3,224,722	0		
(間接経費)						
間接経費	9,492,619	8,743,171	8,644,645	0		
総コスト	2,084,970,842	1,751,568,502	3,566,745,157	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 府中の森芸術劇場3ホールの平均稼働率	74.1	実績	76.6	80.9	-	-	78
	%	達成率	98.2	103.7	0.0	0.0	
② 郷土の森博物館入場者数	276,650	実績	350,447	289,230	-	-	333,500
	人	達成率	105.1	86.7	0.0	0.0	
③ 府中市美術館入場者数	302,525	実績	255,330	202,932	-	-	310,000
	人	達成率	82.4	65.5	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	【指標名①】コロナの各種制限が解除され、コロナ禍以前と同様に文化・芸術活動が実施されるようになった。【指標名②】コロナの各種制限が解除され、より安心して施設をご利用いただけるようになった。【指標名③】感染症対策の緩和	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	【指標名①】なし【指標名②】なし【指標名③】なし	【指標名①】 コロナの各種制限が解除され、文化・芸術活動が活発になったことから施設利用者が増加し、稼働率は目標を達成することができた。 【指標名②】 工事のため約半年の本館（プラネタリウムを含む）の休館や、約1か月の全館休館を行ったため、入場者数は目標値に届かなかった。ただし、入場者数の1日平均は、1,000人を超え好調だった。 【指標名③】 目標値には、届かないものの、新しいジャンルの展覧会を実施し、一定の評価を得られた。	
市民ニーズ	【指標名①】コロナ禍以前と同様に文化・芸術活動が実施されるようになり、施設利用者が増加した。【指標名②】多彩な事業を企画・実施した。園内の植栽を生かした事業の人気の高まった。【指標名③】文化・芸術に係る鑑賞や学習、文化・芸術活動に触れ合う機会の提供。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	府中の森芸術劇場管理運営事業		担当部署	文化スポーツ部 文化生涯学習課				事業種別	重点プロジェクト										
次年度における事業の位置づけ												B		1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)											
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)											
① 府中の森芸術劇場本館の保守点検の実施項目数												1 2 3 4 5 6 7 8							
	51	計画値	51	51	39	51	51												
	件	実績	52	51	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容												業務計画書に基づき、計画的に実施した。							
② 経年劣化による大規模改修等の施設整備計画の進捗率												1 2 3 4 5 6 7 8							
	30	計画値	40	60	100	100	100												
	%	実績	40	60	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容												大規模改修の施工事業者と契約し、工事実施に向けた計画を進めた。							
事務事業名称	郷土の森博物館管理運営事業		担当部署	文化スポーツ部 ふるさと文化財課				事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ												B		1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)											
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)											
① 郷土の森博物館入場者数												1 2 3 4 5 6 7 8							
	276,650	計画値	290,000	303,500	318,500	333,500	333,500												
	人	実績	350,447	289,230	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容												本館改修工事のため9月4日以降、本館(プラネタリウムを含む)を休館した。さらに、工事開始後の詳細調査で、電気設備の改修のため施設全体の停電を要することが判明したため、3月4日以降は全館休館の措置をとった。工事の影響による全館休館等がなければ、昨年同様1日平均の入場者は1,000人を超えていたことから、令和5年度の計画値を超えていたものと推測される。							
		計画値																	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																			
事務事業名称	美術館維持管理事業		担当部署	文化スポーツ部 美術館				事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ												B		1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)											
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)											
① 入館者数												1 2 3 4 5 6 7 8							
	302,525	計画値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000												
	人	実績	225,722	206,235	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容												秋の大型展覧会の観覧者数が、令和4年度に比べ減少した。							
		計画値																	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																			

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<p>【府中の森芸術劇場】 管理・運営に関する基本協定に基づく運営。 改修に伴う実施設計委託を実施。</p> <p>【郷土の森博物館】 管理・運営に関する基本協定に基づく運営。広報活動の充実や計画的な施設修繕等を実施。</p> <p>【美術館】 目標値には、届かないものの、秋の大型展覧会などが30,000人を超えるなど、好評を博し、一定の評価を上げられた。</p>	<p>【府中の森芸術劇場】 管理・運営に関する基本協定に基づく運営。 改修工事に伴う契約手続の実施。</p> <p>【郷土の森博物館】 管理・運営に関する基本協定に基づく運営。本館劣化部位の改修工事の実施。</p> <p>【美術館】 目標値には、届かないものの、新しいジャンルの展覧会を実施し、一定の評価を得られた。</p>		
今後の展開	<p>【府中の森芸術劇場】 管理・運営に関する基本協定に基づく運営。 施設・設備の老朽化等に伴う改修工事を実施。</p> <p>【郷土の森博物館】 豊富な資源を生かした事業展開、施設の老朽化対策の検討及び計画的な修繕等の実施。</p> <p>【美術館】 文化・芸術に係る鑑賞や学習、文化・芸術活動に触れ合う機会の提供を継続する。</p>	<p>【府中の森芸術劇場】 管理・運営に関する基本協定に基づく運営。 施設・設備の老朽化等に伴う改修工事の実施。</p> <p>【郷土の森博物館】 豊富な資源を生かした事業展開、施設の老朽化対策の検討及び計画的な修繕等の実施。</p> <p>【美術館】 文化・芸術に係る鑑賞や学習、文化・芸術活動に触れ合う機会の提供を継続する。</p>		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
イベントの開催などの文化施設の有効活用に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
府中の森芸術劇場や郷土の森博物館、府中市美術館などの各文化施設を活用し、市民団体やボランティア、事業者と連携・協力し、様々なジャンルのイベントを実施する。また、子どもから大人まで幅広い世代に積極的にイベントに参加していただき、芸術・文化に親しむ機会を持っていただく。	引き続き、市民団体等と連携・協力して実施している既存のイベントについて、目標の達成状況や実施による効果を把握し、効果的かつ効率的に行われるよう見直しを行う。 また、新規にイベントを企画する場合は、事業の必要性や効果、手法などを検証し、財源を確保した上で検討する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<p>【府中の森芸術劇場】 「けやき音楽祭 JAZZ in FUCHU」、「防災体験コンサート」の開催等。</p> <p>【郷土の森博物館】 博物館ボランティアによる運営協力、NPOとの共催による「ホームムービーの日 上映会」の開催等。</p> <p>【美術館】 市立小中学校教育研究会図工・美術部共催の造形ワークショップの実施。</p>	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	引き続き、市民団体等と連携・協力して実施している既存のイベントについて、目標の達成状況や実施による効果を把握し、効果的かつ効率的に行われるよう見直しを行う。また、休館する施設については、リニューアル後に施設に来ていただけるきっかけづくりとなるような事業を行う。 また、新規にイベントを企画する場合は、事業の必要性や効果、手法などを検証し、財源を確保した上で検討する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	045	歴史文化遺産の保存と活用				
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）		主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	基本施策	03	文化・芸術活動の支援			
めざす姿	歴史文化遺産の保存と歴史資料の活用等により、市民をはじめとする多くの人々が本市の歴史文化遺産について学び、その価値に対する理解を深めており、郷土愛が育まれるとともに、歴史と伝統があるまちとしての魅力が広がっています。					
SDGsとの関連	 					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	195,288,000	245,086,000	293,788,000	289,822,000		
国庫支出金	26,442,000	45,482,000	42,964,000	47,198,000		
都支出金	12,116,000	22,111,000	24,172,000	41,701,000		
市債	0	0	0	0		
その他	11,300,000	10,600,000	27,000,000	17,623,000		
一般財源	145,430,000	166,893,000	199,652,000	183,300,000		
予算現額	214,950,000	244,802,000	272,828,000	0		
決算額	195,452,888	199,034,272	226,847,274	0		
国庫支出金	17,750,000	27,316,000	25,474,000	0		
都支出金	8,395,000	13,028,000	25,788,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	11,000,000	9,000,000	11,034,000	0		
一般財源	158,307,888	149,690,272	164,551,274	0		
執行率	90.9	81.3	83.1	0.0		
(人件費)						
職員数	14.35	14.15	13.65	0.00		
職員人件費	112,429,480	114,315,374	108,913,227	0		
月額制会計年度任用職員数	9.00	12.00	13.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	29,238,228	38,853,300	41,921,386	0		
(間接経費)						
間接経費	520,201	1,261,150	1,223,122	0		
総コスト	337,640,797	353,464,096	378,905,009	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① ふるさと府中歴史館入場者数	86,284 人	実績 161,020	137,135	-	-	96,000
		達成率 167.7	142.8	0.0	0.0	
② 国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館入場者数	9,160 人	実績 6,147	7,783	-	-	12,500
		達成率 49.2	62.3	0.0	0.0	
③ 『新府中市史』の刊行物の発行数	16 種類	実績 25	29	-	-	31
		達成率 80.6	93.5	0.0	0.0	
		実績 達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルスによる制限等がほぼなかったこと、またウイズコロナへと移行されつつあることから、来館者が徐々に戻りつつある。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	ふるさと府中歴史館内にマイナンバー関係窓口の設置をしたことから、来館者数が増加し、史跡の普及啓発が図れた。	社会経済動向、国・都の政策、市民ニーズの影響はあったが、指標にある施設全体では、昨年度より227%来館者が増加した。多くの利用があったことから、史跡の普及啓発が図れたと考えている。「新府中市史」については、資料編等4冊を発行することができたが、通史の一部に遅れが生じた。	
市民ニーズ	くらやみ祭展や長期休暇に合わせた子供向けワークショップの実施などを行い、アンケート結果からおおむね好評である。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	ふるさと府中歴史館管理運営事業		主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課				事業種別	主要な事務事業																		
次年度における事業の位置づけ									B				1														
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				R 6年度				R 7年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度				R 5年度				R 6年度				R 7年度					要因の種類(※)							
① ふるさと府中歴史館入館者数	86,284	計画値	88,500				91,000				93,500				96,000				96,000								
	人	実績	161,020				137,135				-				-				-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容		マイナンバーの交付窓口の設置、マイナポイントの相談窓口の設置(令和5年9月まで)																									
		計画値																	要因の種類(※)								
																			1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																											
事務事業名称	武蔵国府跡保存活用事業		主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課				事業種別	重点プロジェクト																		
次年度における事業の位置づけ									A																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				R 6年度				R 7年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度				R 5年度				R 6年度				R 7年度					要因の種類(※)							
① 国司跡武蔵国府跡(国司館地区)第二期整備の進捗率	5	計画値	10				20				25				40				40								
	%	実績	10				20				-				-				-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容		第2期整備の目的であるにぎわいと魅力ある空間の創出にあたり、たくさんの方に利用していただける活用事業の一環として、民間活力を使った単発イベントによる実証実験イベント、また当課以外での広く民間利用にも供することができた。																									
		計画値																	要因の種類(※)								
																			1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																											
事務事業名称	府中市史編さん事業		主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課				事業種別	主要な事務事業																		
次年度における事業の位置づけ									C				2														
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				R 6年度				R 7年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度				R 5年度				R 6年度				R 7年度					要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-				-				-				-				-								
	-	実績	-				-				-				-				-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容																											
		計画値																	要因の種類(※)								
																			1	2	3	4	5	6	7	8	
要因の具体的内容																											

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月から、マイナンバー関連窓口設置による史跡の普及啓発との両立。国司館と家康御殿史跡広場の利用促進とイベント実施。熊野神社古墳をライトアップすることによる、今まで知らなかった方を含めた新たなターゲットへの普及を行った。これらの取組により、昨年度以上に史跡の周知が図れたと考えている。 「近世資料編中・下」「市h史研究」を発行・「原始古代通史編」「中世通史編」「近現代通史編」の編集。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと府中歴史館におけるマイナンバー関連窓口設置と普及啓発活動の両立は実施できた。 国司館と家康御殿史跡広場についてはイベント実施の他日常利用の促進を図れた。 古墳まつりも適切に実施し、成果を上げた。 「原始・古代通史編」「中世通史編」「近現代通史編上」「自然編」を刊行・「近世通史編」「近現代通史編下」「民族編」「考古・美術工芸編」の編集。 		
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 国の重要施策であるマイナンバー関連窓口設置・協力の伴う史跡普及啓発との両立の継続。国司館と家康御殿史跡広場のさらなる利用促進を図る。 市内教育機関や刊行ボランティア等での市史刊行物の活用促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 国司館と家康御殿史跡広場における第2期整備の整備計画を進めると同時に、さらなる利用促進を図る。 市史の刊行と刊行物の利用促進を図る。 		

4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
歴史文化遺産に係る情報発信や市史刊行物の周知・活用に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
<ul style="list-style-type: none"> 国司館と家康御殿史跡広場を多くの方に知って、利用してもらうため関係団体と連携し、情報発信等利用の促進を図る。 市内教育機関及び関係団体との連携(市史編さんに係る調査研究、市史刊行物の教育利用等)。また、各種イベントにおける市史刊行物の周知・販売。 	委託業者と協働で、国司館と家康御殿史跡広場の利用促進を図るとともに、第2期整備計画に反映する。協働で市史編さんに係る調査研究を行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
一般社団法人まちづくり府中との協働により、国司館と家康御殿史跡広場におけるイベントや日常利用の促進を行うことができた。東京外国語大学や東京農工大学と連携し、市史編さん事業を進めることができた。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	引き続き広場空間の活用に取り組みとともに、国司館と家康御殿史跡広場第2期整備事業の推進を図る。協働により、市史刊行物の教育利用を進める。